

在宅介護を支える九州の 福祉用具サービス

日本福祉用具供給協会
九州・沖縄支部

佐賀県 介護用品アイデアコンクール 介護者ならではの工夫



介護経験が活きるアイ
デアコンクール

佐賀県ブロック(副島広幸ブ
ロック長)は11月14日、県介護
実習・普及センターと協力し
て、「ふれあい介護フェスタ」
を開催した。介護に関する寸劇

たった県ブロック担当者は、
「介護経験のある人ならではの
発想で、困っていることをちょ
っとしたアイデアで介護用品に
仕立てる工夫に関心させられ

やボランティア
の事例紹介など
が行われた中
で、今年は「介
護用品アイデア
コンクール」を
実施、たくさん
の手作りの介護
用品の応募があ
った。審査にあ

た」という。優秀作品には図書
券が贈られた。

寸劇には150人が集まり、
介護を身近に感じたようだっ
た。約580点の介護予防、自
立支援のための福祉用具を揃え
る普及センターの見学には、ブ
ロック会員が説明や、使い方な
どの指導を行ったが、「在宅ケ
アの中で、用具が果たす役割を
知っていただくよい機会になっ
た」という。

佐賀県でも介護実習・普及セ
ンターとの連携が図られてい
る。普及センターで開催される

年1回の福祉用具専門相談員講
習やシニア介護講座に合わせて
毎月開催される福祉用具相談に
は、ブロック会員から交代で1
人の講師を派遣しており、福祉
用具の提供の実際について解説
している。

県ブロックでは2カ月ごとに
普及センターで会合を開き、情
報収集の場を設けるとともに、
福祉用具の普及をめざしてちら
しを作成して居宅介護支援事業
所などへ配布する。